

## C06b 大局磁場中降着流モデルの各種銀河核への適用

山崎 尚宏、鏑木 修、紀 基樹 (東北大理)

Kaburaki 2000 (ApJ, inpress) は、大局磁場に貫かれた、幾何的に薄く、準ケプラー回転する降着流の解析解を non-ideal MHD を用いて求めた。このモデルは光学的にも薄い、完全移流型降着流である事が判っている。以下では、これを resistive ADAF と呼ぶ。

我々は resistive ADAF モデルを先ず Sgr A\* に適用し、そのスペクトルを計算した。その結果、粘性によって角運動量を輸送する通常の ADAF (以下、viscous ADAF と呼ぶ) と、ほぼ同様に観測データを説明できる事が判った (Kino, Kaburaki, & Yamazaki 2000, ApJ, submitted)。しかし、viscous ADAF とは異なり、resistive ADAF では降着流中の磁場がパラメーターではなくモデルの解析解として決定されているので、スペクトルのフィッティングから、大局磁場の強さに関するより正確な情報が得られるものと期待される。

そこで我々は、その他の近傍の銀河核のスペクトルについても resistive ADAF モデルを適用し、viscous ADAF モデルによるフィッティングとの比較を行なった。本発表では、これらの結果について発表する。